NakaNishi ESD JOURNAL

Creation Quest Friendship

unesco Member of the Associated Schools Network

長野県中野西高等学校　ユネスコ委員会

ESD とは？

Education for Sustainable Development／持続可能な開発のための教育

ＥＳＤは地球規模の課題を自分のこととして捉え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

「2026信州なかのバラまつり」ボランティア



５月２３日（土）から６月１４日（日）の４週間にわたり中野市内の一本木公園で開催されたバラまつりに１～３年生の延べ１６名が運営ボランティアとして参加しました。生徒たちはパンフレットの配布、イベントの補助、清掃等の作業をおこないました。園内には 850 種 3,000 株のバラが咲き誇り、野外ステージではコンサートやバラの講習会、展示館・中野小学校旧校舎ではぬいぐるみの展示などが行われました。また、キッチンカーやテントでは信州中野の美味しい物やバラの苗木などが販売され、県内外から訪れた大勢の人たちで賑わいました。

参加した生徒からは「キレイなバラを見られた」、「達成感を味わえた」との感想があった一方、「暑くて大変だった」、「苗の販売があるのかとか、トイレの場所はどこかなど来園者の方に聞かれて困ったので事前に調べておいたほうが良かった」等ボランティアの大変さを痛感した意見も寄せられました。今回初めて参加した１年生の丸山さんは「将来社会に出たときの大変さを少し理解できた」、同じく１年生の中島さんは「多くの人にありがとうと言われて中野市が好きになった」、平野さんからは「とっても良い経験になった」との感想が届き、成長が伺える様子が見られました。今回の貴重なボランティア体験を今後の学校生活の中に生かしていってくれることを期待しています。



左）２年矢澤さん
「暑かった。来場者に積極的に声を掛けたほうが良い。」

右）２年田中さん
「地域の人とふれ合う機会が少なかったから参加して良かった。」



野外ステージでのヒーローショー